

報道各位

2011.12.07

No.111201

【大豆イソフラボン】着床環境改善への作用を確認 ～第56回日本生殖医学会で発表～

ニチモウバイオティックス株式会社（ニチモウ株（証券コード 8091）100%子会社）は、東京医科大学産婦人科学教室（井坂恵一教授）により明らかとなった自社オリジナル素材 **AglyMax®**（アグリコン型イソフラボン）の着床への作用について、12月8～9日に横浜で開催される第56回日本生殖医学会で発表する。

■試験(*in vitro*)で明らかになったこと

植物性エストロゲンであるイソフラボンには、更年期症状の改善効果や体外受精時の妊娠率の改善が期待できたとする報告など様々な効果が話題となっている。原因不明不妊症の中で時として、着床不全が原因と疑われる例も見受けられる。そこで今回イソフラボンが着床環境を改善できるか検討するために、東京医科大学産科婦人科学教室で以前より着目してきた着床関連因子 LIF への効果を検討した。

結果は、アグリコン型イソフラボン（AglyMax®）は、受精卵の着床に不可欠なサイトカイン、LIF（白血病阻害因子）の分泌を高める作用があることが確認された。

※この事実は、2008年3月に武庫川女子大学との共同研究により、「世界で初めて大豆イソフラボンの不妊治療への有効性を確認」で発表され、医療機関からも評価を得ている。さらに今回の研究で、AglyMax®の作用がより一層確実なものとなった。

●リフ(LIF)とは？●

エストロゲンやプロゲステロンの分泌にともない産生され始め、着床を促す。
このリフの分泌が着床の第一歩となる。

リフ
(LIF)

着床

着床がうまくいくには、いくつかのサイトカインが必要。その代表的なものが「リフ(LIF)」である。

■AglyMax®とは

大豆胚芽に多く含まれるイソフラボンを、ニチモウ独自の麹菌発酵技術（製法特許取得：3014145号（日本））によって、アグリコン型イソフラボンにして抽出した発酵大豆胚芽抽出物。吸収性の高いイソフラボンであること、抗酸化作用が一般のイソフラボンの1000倍以上と群を抜いて高いこと、ダイゼイン比率が約70%とダイゼインリッチであることが大きな特徴。